

日本の伝統音楽を支援して10年 新日鉄文化財団 邦楽の取り組み

「そうだ！日本の伝統音楽も支援しよう！」

新日鉄の創立20周年記念事業として音楽ホールを検討しようとしていたわれわれにとって、クラシックホール建設のコンセプトを検討すればするほど、日本人にとって大切な邦楽の現状が浮かび上がってきた。

当時わが国には邦楽専用ホールは皆無。人間国宝クラスの方も含め、多くの演奏家は音響的にも設備的にも不十分な、いわゆる多目的ホールという不本意な環境での演奏を余儀なくされていた。都内に多くのクラシックホール建設機運が高まり、その音楽にふさわしい威容が次々に姿を現すにつれ、邦楽演奏家にとって、いつの日か邦楽にふさわしく、安心して演奏に集中できるホールの出現が悲願となっていった。このままでは邦楽が本当に衰退してしまう！

邦楽関係者のこのような危機感を真摯に受け止め、1995年、800席の「紀尾井ホール」とあわせて邦楽専用ホールである250席の「紀尾井小ホール」を建設、ここにわが国初の邦楽専用ホールが誕生することとなった。

そして10年。今や、邦楽界において多くの出演者、お客様に喜ばれ、わが国最高のステイタス感を持つ邦楽ホールのひとつとして年々その輝きを増している。

新日鉄がつくった紀尾井小ホールは、クラシックの紀尾井ホールとともに、わが国ですでに重用な位置を占めている。新日鉄文化財団は、これからもその使命の一つとして、邦楽の将来を見つめた多くの企画を提供し、大切な伝統音楽の継承・普及につとめていきたい。

（（財）新日鉄文化財団事務局長 町田龍一）

主な主催公演として「長唄」「新内」「清元」「常磐津」「義太夫」「文楽(人形浄瑠璃)」「三曲」「大和楽」などが挙げられる。

具体的には、以下のようなバラエティに富んだ公演を行っている。皆様、ぜひ足をお運び下さい！

・古典邦楽に焦点を当てた企画

「伝統音楽シリーズ」
「邦楽で聞く愛のかたち」
「名人を聞く会」

・テーマごとに西洋音楽と邦楽の感性の違いを楽しむ

「邦楽西洋と比べれば」

・民族音楽としての視点

「日本音楽のかたち」

・小空間で味わう本格的な人形浄瑠璃 「紀尾井文楽」

・近代・現代の邦楽の流れをたどる 「現代邦楽創造の軌跡」

・若い演奏家育成企画 「ゆう志の会」

・人形と人間のコラボレーション 「紀尾井人形邦楽館」

・邦楽をテーマとした朗読公演 「紀尾井朗読スペシャル」

・初めての方に邦楽のいろはを解説 「邦楽のてほどき」など



第3回 ゆう志の会 常磐津 勢獅子



紀尾井人形邦楽館 保名狂乱と葛の葉子別れの段

紀尾井ホール（財）新日鉄文化財団 これからの主催公演（紀尾井小ホール） <http://www.kioi-hall.or.jp>

9月14・15日 紀尾井朗読スペシャル ドラマ・リーディング
いのちをともにした女たち ~近代日本女性史~【邦楽】
「ほいとうの妻 山頭火たれ山頭火」
演 出：西川信廣 美 術：朝倉摂
音楽監修：池辺晋一郎 脚 本：杉浦久幸
音楽・演奏：山本邦山 出 演：原田美枝子、平田満

9月20・21日 「中也が愛した女 いかに奏子いまこそは」
演 出：西川信廣 美 術：朝倉摂
音楽監修：池辺晋一郎 脚 本：古城十忍
音楽・演奏：半田淳子 出 演：秋山菜津子、高橋和也
ほか

8月の主催公演はありません

10月20日 ゆう志の会
出 演：中川敏裕（箏） 山本真山（尺八） 難波竹山（尺八）
富山清琴、矢崎明子（三弦）ほか
曲 目：「新娘道成寺」「尾上の松」

11月17日 「杵屋五三郎をきく会」
出 演：今藤尚之、東音宮田哲男（唄）
杵屋五三郎（三味線） 萩岡松韻（箏）
川瀬白秋（胡弓） 藤舎呂船（鳴物）ほか

12月20日 日本音楽のかたち（二十一）「日中琵琶の調べ」（仮題）
解 説：徳丸吉彦
出 演：劉西峰（中国琵琶） 中村鶴城（薩摩琵琶）ほか